

第724回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 丸森地区における東日本台風からの復旧・復興事業 [東北地整]

..... 宮城県伊具郡丸森町

- ・令和元年東日本台風により、丸森町の内川流域では堤防決壊や土砂・洪水氾濫が発生した。
- ・このため直轄権限代行により河川災害復旧工事を実施し、河道掘削による流下能力の向上や堤防断面の拡大などにより堤防機能を強化するとともに、橋梁・樋門等の改築を進めている。
- ・また、大規模な土砂・洪水氾濫への再度災害防止として、内川流域の五福谷川等では、直轄特定緊急砂防事業として砂防堰堤や遊砂地を整備し、土砂を一時的に貯留・調整することで下流域の氾濫被害を軽減し、流域全体の治水安全度の向上を図っている。



2 川内沢ダム建設事業 [宮城県]

..... 宮城県名取市

- ・川内沢ダムは、洪水調節及び流水の正常な機能の維持を目的とした治水ダムである。
- ・洪水調節は、ダム計画地点における洪水時の流量 40m³/s のうち 37m³/s の水をダムに貯め、下流への放流量を 3m³/s に減らす。その結果、館腰基準点の流量を 115m³/s から 80m³/s に減らし、沿川地域の洪水被害の軽減を図る。
- ・流水の正常な機能の維持は、10年に1度発生すると考えられる渇水に対して安定的なかんがい用水などを確保するとともに、河川環境を保全するための維持用水を補給する。



3 仙台城跡災害復旧事業 [仙台市]

..... 宮城県仙台市

- ・福島県沖地震により崩壊した仙台城跡の本丸北西石垣および西門石垣では、歴史的価値の保全を前提に復旧工事が進められた。三次元測量等に



より変形状況を把握し、必要最小限の範囲で解体・積み直しを実施するとともに、石材を元の位置に戻す伝統工法を採用した。一方で再崩壊防止のため、ジオテキスタイルや鉄筋を用いた補強を併用し、安全性と景観の両立を図った。